



恒例のハウス祭りの時期、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため従来のような飲食を伴う催し物ができないことから、中止という選択肢もありましたが、

公民館ハウス祭り開催



第31号

発行
 県の里まちづくり推進協議会
 県主地区自治連合協議会
 県主公民館
 県主地区社会福祉協議会

文化部長 尾山立志

2年ぶりに展示の部のみで開催することが決定しました。各種団体・サークルの皆さんも感染予防のため活動が制限されているなかで展示していただくことができているのかと心配もしましたが、文化委員の方々の多大なご協力により、2年前の公民館新築記念文化祭と同等の展示の部ができたと感謝しています。

また、同時に小学校5・6年生による体験学習として、「地域交流スペース」[絆]では、子どもたちとふれあいながらリース作りに挑戦

したり、児童クラブではフリーマーケットで商品販売に挑戦して、多くの方々に来場いただいたり、以前の賑わいを少し取り戻せたように感じました。さらに学習工作室では消防団による「ミニ四駆体験コーナー」も好評で子どもたちの人気を集めていました。

午前中あいにくの雨模様ではありましたが、会場には、200名以上の方が足を運んでいただき、展示された力作を熱心に鑑賞しておられました。

新型コロナウイルス感染症の収束はまだまだ先の見えない状況ですが、皆様のご協力で、すばらしいハウス祭りとなったと思います。新型コロナウイルス感染症が収束し来年度は従来のハウス祭りが開催できるようになればと願っています。

最後に、ハウス祭り開催にあたり、出展いただいた皆様並びに文化委員の皆様お忙しい中ご協力いただきありがとうございます。

おかげさまで第10回目 かかしコンテストを終えて

うつくしい里部会 蔵本久美
 今年も恒例となった「かかしコンテスト」を盛会に終えることができました。

コロナ禍とはいえ、中止することなく続けることができ、おかげさまで「かかし」と共に県主の認知度もあがってきたように思います。これも出展していただいている皆様や期間中見に来ていただいている皆様、そして地域の皆様のおかげと感謝しております。今後も県主の田園風景に溶け込む「ふるさとかかし」の制作や秋の「かかしコンテスト」を続けてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



今年の最優秀賞チーム
 いきいき稲倉まちづくり協議会

11月6日、好天に恵まれ、第二回目となる防災訓練を県主地区全域で盛大に実施することができました。昨年同様、総勢170余名が参加した大規模な訓練になりました。高齢者や要支援者の方、そして土砂災害警戒区域の方をはじめ多くの方に参加していただきました。また、防災訓練を実施するにあたって、井原市役所や井原消防署の職員の方々、そして県主小学校の校長先生、教頭先生のご協力を得て円滑に訓練を実施することができました。心よりお礼申し上げます。

今回は、災害発生時に即

万が一に備えて 防災訓練を

県主地区防災会 会長 佐藤好晴

応じることができるようにするために、四種類の防災訓練を展開しました。各地区にある公民館などの自主避難場所から指定緊急避難場所の県主小学校体育館まで自治会単位で避難をする「避難訓練」、水消火器や粉末消火器を使



用しての「初期消火訓練」や、訓練用AEDやマネキンを使用して胸骨圧迫や心肺蘇生を訓練する「救命救護訓練」、そして、芋ご飯やゆで卵をつくり、それを提供する「炊き出し訓練」等を実施しました。

一連の訓練を通して、地域の方々の防災意識を高めることと防災会メンバーのスキルを磨くという所期の目的は少なからず果たすことができましたと思います。

さて、今年、井原市は自然災害がほとんどなく、9月19日、台風14号到来時に暴風警報が発令され、各小学校の体育館等に避難場所



が開設された程度で、大きな被害はありませんでした。しかし、全国的には梅雨の時期と台風とで河川の氾濫、土砂災害など甚大な被害が出ています。

「今までに経験したことがないような大雨」とか「直ちに命を守る行動をとってください」とか、あるいは「線状降水帯」「記録的短時間大雨情報」とか耳慣れない言葉を聞くことが度々あ



りました。このような情報が井原市に出たらどうなるのだろうかと不安になったのは、私だけではないと思います。

県主は今まで大きな災害がなかったからこれからは大丈夫とはいえない時代になったと思います。30年以内の発生確率が70%以内といわれている南海トラフ地震は、井原市の中でも県主は最も揺れが強く、

震度6.2と推測されていると聞いています。震度6.2といえば、立っていられないほどの揺れで、家具などが倒れたり、家が傾いたり倒れたりするという揺れらしいです。

大地震の場合は市や消防署からの救援、救助がすぐに得られるとは限りません。そのような時に、自分たちの地域は自分たちで守るという「自助」と、災害時に支援が必要な方などに手を差し伸べるという「共助」の精神が求められるわけです。そういう災害がないことを祈っていますが、万が



一に備えて、このような訓練を毎年続けていくことによって「自助」と「共助」の精神をお互いにつちかうことができたらと考えています。何卒、ご理解ご協力のほどよろしく願います。

防災グッズを準備



県
主
の
わ
だ
い



11/18 門田楽寿会親睦旅行 (秋晴れの日 県北をのんびり旅行してきました。)



12/11 年末粗大ごみ回収



8/13 鳥羽踊り 御霊供養



12/13 社協研修



11/4 小学校芋掘り (協力:門田・西方楽寿会)



11/28 西方楽寿会親睦旅行 (鳥取砂丘にて)



趣向を変えて長寿のお祝い

県主地区では77歳以上の220名の方々が、長寿をお祝いする敬老会の対象となります。

9月11日に、敬老の式典を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の脅威は収まらず、やむなく式典を中止、記念品配布とさせて頂きました。

せっかくなら、いつもと少し趣向を変えて、でも、県主らしく、女性部の理事を中心に協議を重ね、地元



自治会女性部長 三嶋邦恵

和菓子たむらの赤飯、今治産のバスタオル、クッキーヘルサを記念品として選びました。

式典を予定していた日、各地区別に記念品を袋詰め、各自治連合会長、自治会長の皆さんのご協力により、お一人お一人にお渡しすることができました。

敬老会の式典を開催することはできませんでしたが、少しずつコロナ前の交流の場が戻りつつあります。おしゃべりし、笑い、動き、時にはのんびりとお過ごし頂き、また来年お元気な笑顔を見せて頂ける事を心より願っております。



民生・児童委員改選

県主地区民生児童委員協議会会長 佐藤聖子

民生・児童委員

佐藤 聖子

(仁古谷・太和・7・8部担当)

藤田 真也

(1部・広江・4部担当)

佐藤 弘美

(9・10・11部担当)

北川さち子

(3・5・6部担当)

主任児童委員

佐藤 和子・藤井 京子

(県主全域担当)

12月1日付で、民生・児童委員の改選が行われ、新体制での活動が始まりました。鳥越愛子さん、北田伸子さん、尾山玲子さんが退任され、藤井京子さん、佐藤弘美さん、北川さち子さんが新任されました。退任されました3人の皆様には、長年にわたり地域のためにご尽力賜り、心より感謝申し上げます。

微力ですが、これから新体制で地域の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。私たちは、皆様の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役です。「心配ごと」や「悩みごと」などがありましたら、お気軽に声をかけていただきますようお願いいたします。

引き続き、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



佐藤和子さん



佐藤弘美さん



佐藤聖子さん



藤井京子さん



北川さち子さん



藤田真也さん

ふれあい訪問

地域の方と楽しくコミュニケーション



「しんぽく会」

「ふれあい訪問を通して」

六年 山本柚希
私は、今回のふれあい訪問は大成功だったと思う。なぜそう思ったかというところ、ゲームが上手くいったというところもあるが、何より地域の方とたくさんお話をすることができたからだ。最初は上手くできるか心配で、少しだけ緊張していた。だけど、自然と緊張はほぐれ、地域の方と楽しくお話をすることができた。このふれあい訪問での私の目標は、「たくさんお話をして、相手も私も元気になること」だったが、目標を達成することができたと思う。5年生の時に参加した1回目のふれあい訪問に比べると、ずいぶん話すことができるようになったと思うので、

少しは成長したのかなと思っただけ、楽しい時間だったので、すぐに時間がたつてしまったり少し驚いた。そして、やっぱりふれあい訪問っていいなと思った。



「たんぽぽの会」

「ふれあい訪問のふり返り」

六年 藤原遼哉
今日のふれあい訪問では、コミュニケーションをしつ

かりとって、地域のみなさんと楽しく過ごすことができました。もともとぼくは、人と話をするのが苦手です、上手くできる自信がありませんでした。だけど、ふれあい訪問に来てくださった地域の方が優しく声をかけてくださったので、しっかりと話すことができました。前回のふれあい訪問では、ゲームの説明が上手くいかなかったけれど、今日のふれあい訪問では上手くいったのでよかったです。また、急に感想を尋ねられた時に、



すぐに答えることができました。きつと、すぐに感想が言えたのも今日のふれあい訪問がとても楽しい会だったからです。今日の経験を活かして、これから自分の苦手なコミュニケーションにどんどん挑戦して、自信をもてるようにしたいです。

「ミニミニ会」

「ふれあい訪問をふり返って」

六年 藤井仁香
今日のふれあい訪問は地域の方々と一緒に盛り上がる事ができ、とても楽しかったです。でも、私自身の行動を振り返ってみると、まだまだ頑張ることができたのではないかと思いましたが。なぜなら、事前に準備していたゲームはルールが難しく、上手く説明をすることができなかつたからです。そのため、ゲームの時間を延長しても最後のグループまで順番を回すことができませんでした。しかし、地域のみなさんは笑顔

【むつみ会】
 「ふれあい訪問をふり返って」
 六年 藤井遥希
 今日のふれあい訪問に向けて、ぼくは友達と一緒に準備を頑張ってきた。しかし、当日いざ公民館に着い



でゲームに参加してください、盛り上げてくださいます。そんなみなさんの喜ぶ姿を見て、私はやってよかったと思います。
 これから先、中学生になっても地域の方々との関りを大切にしていきたいです。



て会を進めてみると、地域の方にどうやって話をすればよいのか分からず、あまり上手くないっていいように感じた。しかし、ゲームを進めていくにつれて少しずつ調子が出てきて、盛り上がっていった。最後にしたフリートークは特に地域の方に喜んでもらうことができました。ぼくは、みんなが楽しそうに話す姿を見て、「とてもいい日になった」と思った。これからも、地域の人の関りを大切にしていきたい。



**第十二回公民館
 グラウンド・ゴルフ大会**

公民館 藤井千秋

11月27日、井原市グラウンド・ゴルフ場で第十二回県主公民館グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。朝の寒さが嘘のような好天に恵まれたなか、和気あいあいとプレーを楽しみました。
 今回は、小学生7名を含

第 12 回県主公民館グラウンド・ゴルフ大会成績一覧

	一般男子	一般女子	小学生男子	小学生女子
優勝	佐藤憲司	森谷みつゑ	佐藤新太	河野凜香
準優勝	岡田英臣	佐藤仁美	佐藤凜太郎	鳥越望愛
第 3 位	山本勝禎	松山知子	藤原遼哉	岡田佳奈
ホールインワン	佐藤憲司	北田正次	松石節治	早田 豊
	森谷みつゑ	石本喜代美		

む49名が8組に分かれて三世代間の交流を深めました。成績は次の表のとおりで、一般男女総合優勝は、森谷みつゑさんとのニアピン勝負を制した佐藤憲司さんが栄誉に輝きました。参加いただいた皆様ありがとうございました。次年度の大会にもご参加いただきますようお願いいたします。

耕作放棄地の解消に向けて8年目

県の里まちづくり推進協議会 蔵本哲治



県の里まちづくり推進協議会では、耕作放棄地の解消と、地元特産品の開発を目的に始めた、「芋焼酎「里の夢」。今年で8年目の収穫となりました。

原料のサツマ芋の苗は「黄金千貫」で、鹿児島県志布志市より取り寄せ、本年度も6月に定植し、11月19日・20日に収穫しました。

岡山県備中県民局の「地域の課題解決支援事業」とマッチングして、岡山県内の大学生5名と県主小学校児童10名も加わり、子どもたちの交流を行いながらサツマ芋収穫を実施しました。

大学生からは、「元気な小学生と一緒に芋掘りが出来て、とても気持ち豊かになった。」小学生からは、「とても楽しかった。」「初めて芋掘りをした。」などの感想が得られ、収穫後は、会員さんが焼いた焼き芋を大学生と一緒に食べながら、和気あいあいとおしゃべりをしながら交流を深めていました。

そして、この度収穫した芋は、令和5年3月には新酒として販売されます。「里

の夢」を飲んだ大学生からも、「とてもさっぱりして美味しかった。」の感想も頂きました。皆さんも、「里の夢」を是非味わっていただき、応援してください。よろしくお願ひいたします。



ご寄付ありがとうございました

県主地区社会福祉協議会へ
藤井須美江様 (亡) 夫
佐藤 泰之様 (亡) 父
三嶋 卓也様 (亡) 祖母
三嶋 和也様 (亡) 母
長谷 宏章様 (亡) 母
紙面をもってお礼にかえさせていただきます。

県主地区の人口・世帯数

地区全体

世帯数	535世帯
(門田町)	305世帯
(西方町)	230世帯
人口	1,220人
(門田町)	699人
(西方町)	521人
男	576人
(門田町)	338人
(西方町)	238人
女	644人
(門田町)	361人
(西方町)	283人
65歳以上	488人
(門田町)	301人
(西方町)	187人
高齢化率	40.0%
(門田町)	43.1%
(西方町)	35.9%

令和4年11月末現在



県の里まちづくり推進協議会

県の里まちづくり推進協議会のページで「みんなの県主」が閲覧できます。【ホームページ】<http://www.agatanosato.jp>